

令和3年 火災統計



船橋市消防局

〔目 次〕

1	火災の現状と動向	P 1
2	火災状況	
(1)	令和3年中の火災概要	P 1
(2)	1日当たりの損害額及び焼損床面積の状況	P 3
(3)	火災種別ごとの状況	P 4
(4)	月別火災状況	P 5
(5)	四季別火災状況	P 6
(6)	覚知方法別火災状況	P 6
(7)	時間帯別火災状況	P 7
(8)	初期消火の実施状況	P 8
3	出火原因	
(1)	出火原因別の状況	P 9
(2)	「放火」及び「放火の疑い」による火災の状況	P 10
(3)	出火原因「その他」の内訳	P 10
4	建物火災状況	
(1)	建物焼損床面積及び損害額の状況	P 11
(2)	建物用途別火災状況	P 12
(3)	放水開始時間別損害状況	P 14
(4)	鎮火時間別損害状況	P 14
5	死者・負傷者	P 15
6	住宅用防災機器等の設置及び鳴動状況	P 16
7	管轄別火災発生状況	P 17
	中央署管轄町名別火災発生件数	P 19
	東署管轄町名別火災発生件数	P 22
	北署管轄町名別火災発生件数	P 25

1 火災の現状と動向 (表1)

この10年間の火災件数を平均すると、年間139件となり、過去3年間は平均を下回っている。さらにこの5年間の平均は120件となり、火災件数は減少傾向である。

令和2年中は116件に対し、令和3年中は85件と昭和37年以来59年ぶりに100件を下回っている。

火災による死者は、毎年5人前後を推移していたものの、令和2年中は2人、令和3年中は3人と5人を下回っている。

負傷者にあつては、平成24年から平成30年の間では、平成27年を除き毎年20人をこえていたが、令和元年から20人を下回っており、令和3年中は15人となっている。

令和3年中の建物焼損床面積は1,258㎡であり、損害額は126,631千円となっている。

出火率は1.3件/万人と昨年に引き続き過去10年で最も低い数値である。

(表1)火災の推移

年	区分	件数 (件)	建物焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	出火率 (件/1万人)
平成 24 年		151	2,139	303,155	4	28	2.5
平成 25 年		158	2,728	199,299	5	25	2.6
平成 26 年		177	2,695	282,025	1	34	2.8
平成 27 年		154	1,019	284,457	5	9	2.5
平成 28 年		152	1,169	245,196	5	23	2.4
平成 29 年		145	1,555	153,045	5	30	2.3
平成 30 年		148	1,937	376,942	11	28	2.3
令和 元 年		108	2,158	198,215	6	12	1.7
令和 2 年		116	6,921	836,607	2	12	1.8
令和 3 年		85	1,258	126,631	3	15	1.3

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。

※ 人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳(644,966人)です。

※ 死者には、火災より負傷した後、48時間以内に死亡した者を含みます。

2 火災状況

(1) 令和3年中の火災概要(表2・グラフ①)

令和3年中の火災件数は85件で前年より31件(-26.7%)減少している。

火災種別毎に前年と比較すると、「建物火災」が61件(-22件・-26.5%)、「車両火災」が6件(±0件)、「その他の火災」が18件(-9件・-33.3%)発生しているが、「林野火災」、「船舶火災」及び「航空機火災」は発生していない。

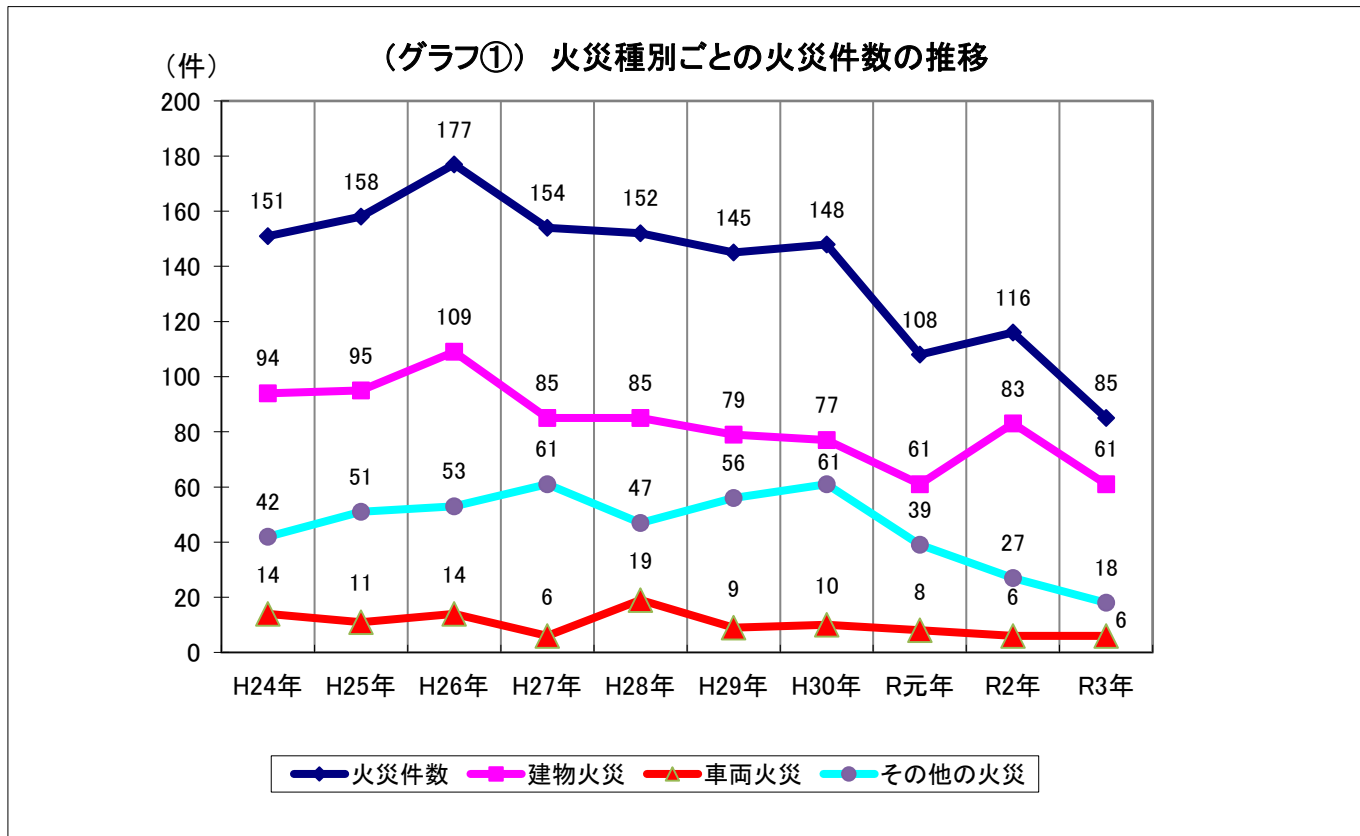
建物焼損床面積は1,258㎡で前年と比べ5,663㎡(-81.8%)減少しており、損害額にあつても1億2,663万1千円と、前年と比べ7億997万6千円(-84.9%)減少している。

また、焼損棟数は、82棟(-25・-23.4%)と建物火災の大幅な減少により減少しているが、全焼火災棟数は11件(+4・+57.1%)となり、前年より増加している。

(表2) 令和 3 年中の火災概要

	単位	令和 3 年 (A)	令和 2 年 (B)	対前年 増減数 (A) - (B)	増減率 (A-B)/B (%)
火災件数	件	85	116	▲ 31	▲ 26.7
建物火災	件	61	83	▲ 22	▲ 26.5
林野火災	件	0	0	±0	-
車両火災	件	6	6	±0	±0
船舶火災	件	0	0	±0	-
航空機火災	件	0	0	±0	-
その他の火災	件	18	27	▲ 9	▲ 33.3
焼損棟数	棟	82	107	▲ 25	▲ 23.4
全焼	棟	11	7	4	57.1
半焼	棟	3	5	▲ 2	▲ 40.0
部分焼	棟	20	21	▲ 1	▲ 4.8
ぼや	棟	48	74	▲ 26	▲ 35.1
建物焼損床面積	m ²	1,258	6,921	▲ 5,663	▲ 81.8
建物焼損表面積	m ²	290	1,620	▲ 1,330	▲ 82.1
林野焼損面積	a	0	0	±0	-
死者	人	3	2	1	50.0
負傷者	人	15	12	3	25.0
り災世帯	世帯	81	87	▲ 6	▲ 6.9
全損	世帯	10	8	2	25.0
半損	世帯	6	4	2	50.0
小損	世帯	65	75	▲ 10	▲ 13.3
り災人員	人	188	170	18	10.6
損害額	千円	126,631	836,607	▲ 709,976	▲ 84.9
建物火災	千円	125,189	818,822	▲ 693,633	▲ 84.7
林野火災	千円	0	0	±0	-
車両火災	千円	273	1,506	▲ 1,233	▲ 81.9
船舶火災	千円	0	0	±0	-
航空機火災	千円	0	0	±0	-
その他の火災	千円	1,169	16,279	▲ 15,110	▲ 92.8
(爆発)	千円	0	0	±0	-
出火率	件	1.3	1.8	▲ 0.5	▲ 27.8

※ 「▲」は減少を示します。(以下同じ)



(2) 1日当たりの損害額及び焼損床面積の状況(表3)

令和3年中に発生した火災の1日当たりの火災件数は、0.2件/日(前年比+0.1件/日)、1日当たりの損害額は34万7千円/日(前年比+194万5千円/日)、1日当たりの焼損床面積は、3.4㎡/日(前年比+15.6㎡/日)となっている。

火災1件当たりの損害額は149万円/件(前年比+572万2千円)となっている。

また、建物火災1件当たりの損害額は205万2千円/件(前年比+781万3千円/件)、1件当たりの建物焼損床面積は20.6㎡/件(前年比+62.8㎡/件)、1件当たりの焼損棟数は1.3棟/件(前年比±0棟/件)となっている。

(表3) 1日当たり及び1件当たりの火災の概要

区分	単位	令和3年	令和2年	対前年増減数 A-B	増減率 (A-B)/B (%)
全火災1日当たり	火災件数	0.2	0.3	▲ 0.1	▲ 33.3
	損害額	347	2,292	▲ 1,945	▲ 84.9
	建物焼損床面積	3.4	19.0	▲ 15.6	▲ 82.1
全火災1件当たり	損害額	1,490	7,212	▲ 5,722	▲ 79.3
建物火災1件当たり	損害額	2,052	9,865	▲ 7,813	▲ 79.2
	建物焼損床面積	20.6	83.4	▲ 62.8	▲ 75.3
	焼損棟数	1.3	1.3	±0	0.0

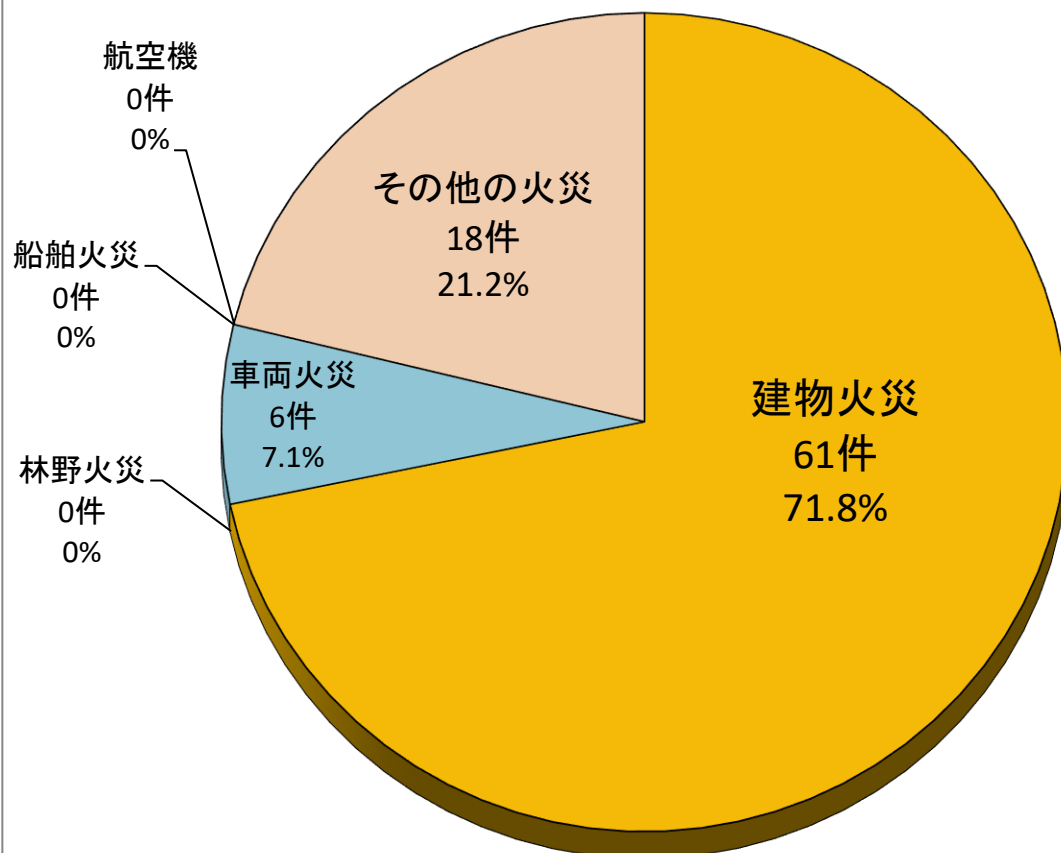
(3) 火災種別ごとの状況 (表4・グラフ②)

火災種別ごとの火災件数の構成割合をみると、「建物火災」が全火災の71.8%で最も高い比率を占めている。次いで、「その他の火災」、「車両火災」の順になっており、過去10年についても同様である。

(表4)火災種別ごとの推移

	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		航空機火災		その他の火災		合計
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
平成 24 年	94	62.3	0	0.0	14	9.3	1	0.7	0	0.0	42	27.8	151
平成 25 年	95	60.1	1	0.6	11	7.0	0	0.0	0	0.0	51	32.3	158
平成 26 年	109	61.6	0	0.0	14	7.9	1	0.6	0	0.0	53	29.9	177
平成 27 年	85	55.2	0	0.0	6	3.9	2	1.3	0	0.0	61	39.6	154
平成 28 年	85	55.9	0	0.0	19	12.5	1	0.7	0	0.0	47	30.9	152
平成 29 年	79	54.5	0	0.0	9	6.2	1	0.7	0	0.0	56	38.6	145
平成 30 年	77	52.0	0	0.0	10	6.8	0	0.0	0	0.0	61	41.2	148
令和 元 年	61	56.5	0	0.0	8	7.4	0	0.0	0	0.0	39	36.1	108
令和 2 年	83	71.6	0	0.0	6	5.2	0	0.0	0	0.0	27	23.3	116
令和 3 年	61	71.8	0	0.0	6	7.1	0	0.0	0	0.0	18	21.2	85

(グラフ②)火災種別の構成割合



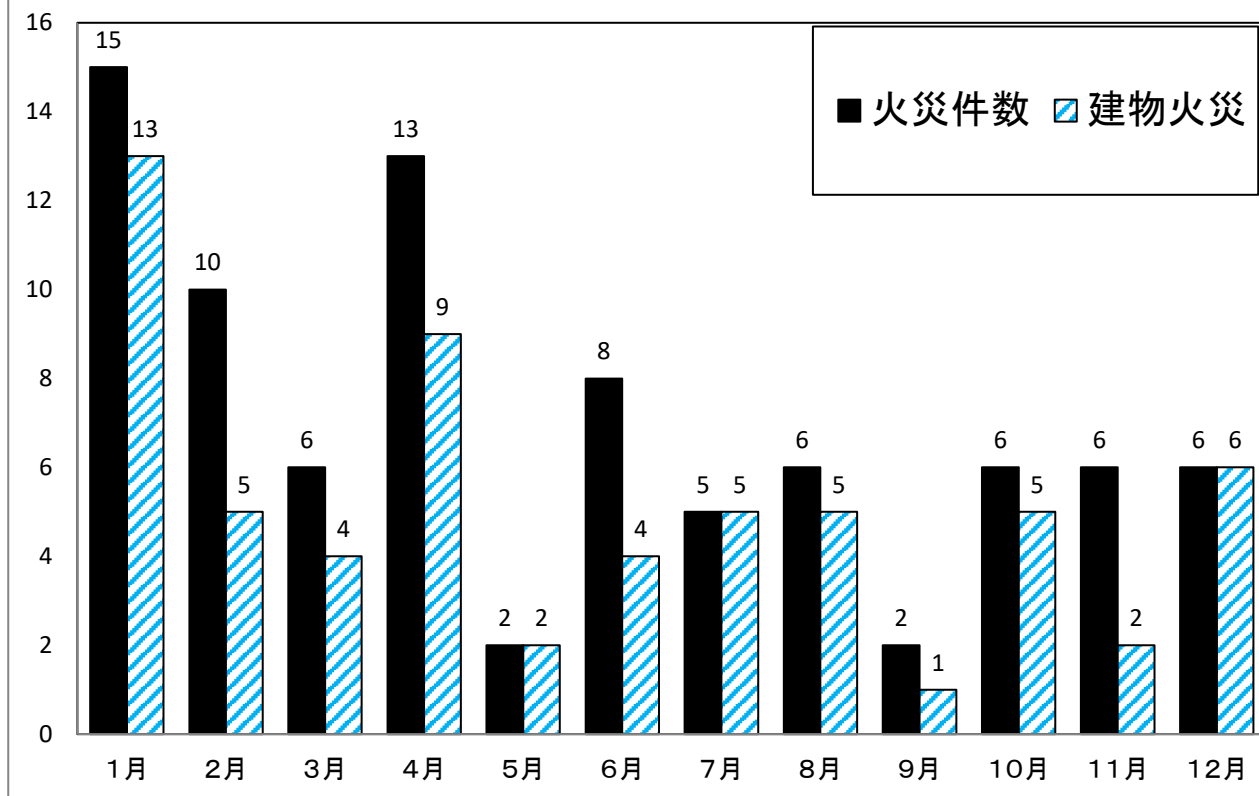
(4) 月別火災状況 (表5・グラフ③)

火災件数を月別にみると、1月が15件で最も多く、最も少ない月は5月、9月で2件となっており、1ヶ月に平均7.1件の火災が発生し、平均1055万3千円の損害額が出ている。

(表5)月別火災概要

月	火災件数							建物 焼損 床面積 (㎡)	損害額(千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1月	15	13					2	290	45,699	45,699					
2月	10	5		3			2		1,087	149		158			780
3月	6	4		2					260	151		109			
4月	13	9					4	359	32,196	32,191					5
5月	2	2							6	6					
6月	8	4					4	170	19,075	19,047					28
7月	5	5						94	5,716	5,716					
8月	6	5					1	60	10,173	10,172					1
9月	2	1					1		351	1					350
10月	6	5		1				262	11,853	11,847		6			
11月	6	2					4		20	15					5
12月	6	6						23	195	195					
合計	85	61		6			18	1,258	126,631	125,189		273			1,169
平均	7.1	5.1		0.5			1.5	105	10,553	10,432		23			97

(グラフ③) 月別火災件数及び建物火災件数



(5) 四季別火災状況（表6）

令和3年中の火災件数を四季別にみると、冬季に31件と多く発生しており、次いで春季、夏季、秋季の順となっている。

(表6) 四季別火災概要

	火災件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)	焼損床面積(m ²)	割合(%)
春季(3月～5月)	21	24.7	32,462	25.6	359	28.5
夏季(6月～8月)	19	22.3	34,964	27.6	324	25.8
秋季(9月～11月)	14	16.5	12,224	9.7	262	20.8
冬季(12月～2月)	31	36.5	46,981	37.1	313	24.9
合 計	85	100.0	126,631	100.0	1,258	100.0

(6) 覚知方法別火災状況（表7）

覚知方法は、火災報知専用電話による119番通報が42件(49.4%)あり、なかでも火災報知専用電話(携帯電話)からの119番通報が31件(36.5%)で最も多い。

また、事後聞知の件数も32件(37.5%)と多くなっている。

(表7) 覚知方法別火災発生件数

覚知方法別	区 分	件 数	割 合 (%)
火災報知専用電話	NTTを除く	7	8.2
	NTT加入	4	4.7
	携帯電話	31	36.5
加入電話	固定電話	2	2.4
	携帯電話	1	1.2
警察電話		6	7.1
駆け付け通報		0	0.0
事後聞知		32	37.5
その他		2	2.4
合 計		85	100.0

(7) 時間帯別火災状況(表8・グラフ④)

火災件数を時間帯別にみると、全体では4時～6時、10時～12時、14時～16時の時間帯が各10件と最も多く発生している。

一方、火災件数が少ない時間帯は、22時～24時で2件となっている。

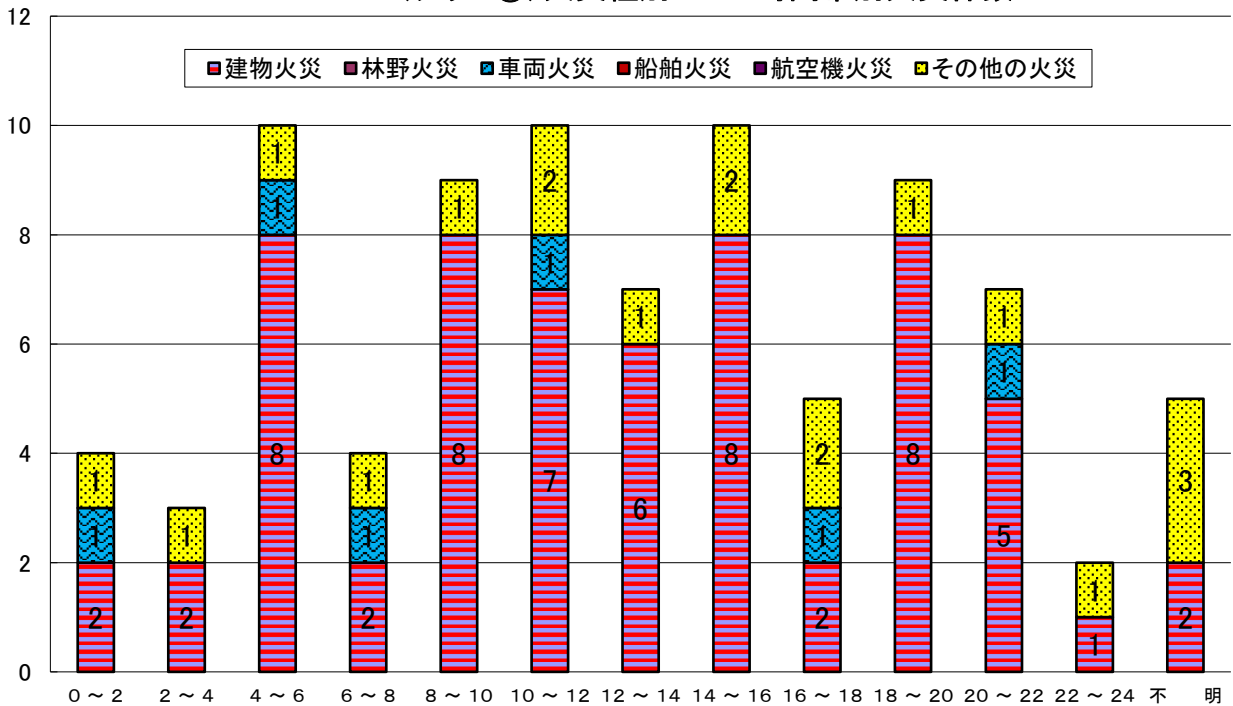
「建物火災」は4時～6時、8～10時、14～16時、18～20時の時間帯が各8件と最も多く発生しており、一方、22～24時の時間帯は、1件と最も少なく発生している。

(表8)火災種別ごとの時間帯別火災件数

火災種別 別時間帯	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他の 火災	時間帯合計
0～2	2		1			1	4
2～4	2					1	3
4～6	8		1			1	10
6～8	2		1			1	4
8～10	8					1	9
10～12	7		1			2	10
12～14	6					1	7
14～16	8					2	10
16～18	2		1			2	5
18～20	8					1	9
20～22	5		1			1	7
22～24	1					1	2
不 明	2					3	5
総 件 数	61		6			18	85

※ 例えば、時間帯の「0～2」は出火時刻が0時00分から1時59分の間であることを表します。

(グラフ④)火災種別ごとの時間帯別火災件数



※ 例えば、時間帯の「0～2」は出火時刻が0時00分から1時59分の間であることを表します。

(8) 初期消火の実施状況 (表9)

初期消火の実施状況をみると、火災件数85件のうち、53件(62.4%)で初期消火が行われており、そのうち38件(71.7%)が成功している。

建物火災における初期消火の状況をみると、火災件数61件のうち41件(67.2%)で初期消火が行われ、そのうち30件(73.2%)が成功している。

初期消火器具の使用状況は、水道水をかけ消火したものが25件と最も多く、次いで消火器を使用したものが15件となっている。

さらに、建物火災における水道水と消火器に関する初期消火の成功率を比較すると、水道水が25件中12件(成功率48.0%)、消火器は15件中9件(60.0%)と消火器の成功率が高くなっている。

(表9) 初期消火の実施状況

	件数 A	初期消火 した件数 B	割合 B/A (%)	初期消火 成功件数 C	成功率 C/B (%)	初 期 消 火 器 具			
						水道水	消火器 粉末/強化液	屋内/外 消火栓	その他
建物火災	61 (83)	41 (60)	67.2 (72.3)	30 (50)	73.2 (83.3)	18 (23)	11 (16)	1 (0)	11 (21)
車両火災	6 (6)	6 (2)	100.0 (33.3)	3 (1)	50.0 (50)	1 (1)	4 (0)	0 (0)	1 (1)
林野火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他の 火災	18 (27)	6 (14)	33.3 (51.9)	5 (11)	83.3 (78.6)	6 (10)	0 (4)	0 (0)	0 (0)
船舶火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
航空機 火災	0 (0)	0 (0)	- (-)	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	85 (116)	53 (76)	62.4 (65.5)	38 (62)	71.7 (81.6)	25 (34)	15 (20)	1 (0)	12 (22)

※ 成功率は、初期消火した件数に対し、初期消火件数の割合をいいます。

※ 初期消火器具「その他」=は、毛布・座布団・タオル・土砂等の他、もみ消しなどを含みます。

※ ()内は、前年中の数値を示します。

3 出火原因

(1) 出火原因別の状況 (表10・グラフ⑤)

令和3年中の出火原因別件数は、ワースト1位が「たばこ」、「こんろ」、「電灯・電話等の配線」、「配線器具」、「放火の疑い」で各9件(各10.6%)、第6位が「放火」で6件(7.0%)、第7位が「電気機器」で4件(4.7%)となっている。

令和2年中は、「放火」及び「放火の疑い」の合計が11件で全体の9.5%であるが、令和3年中では合計15件で全体の17.6%と増加している。

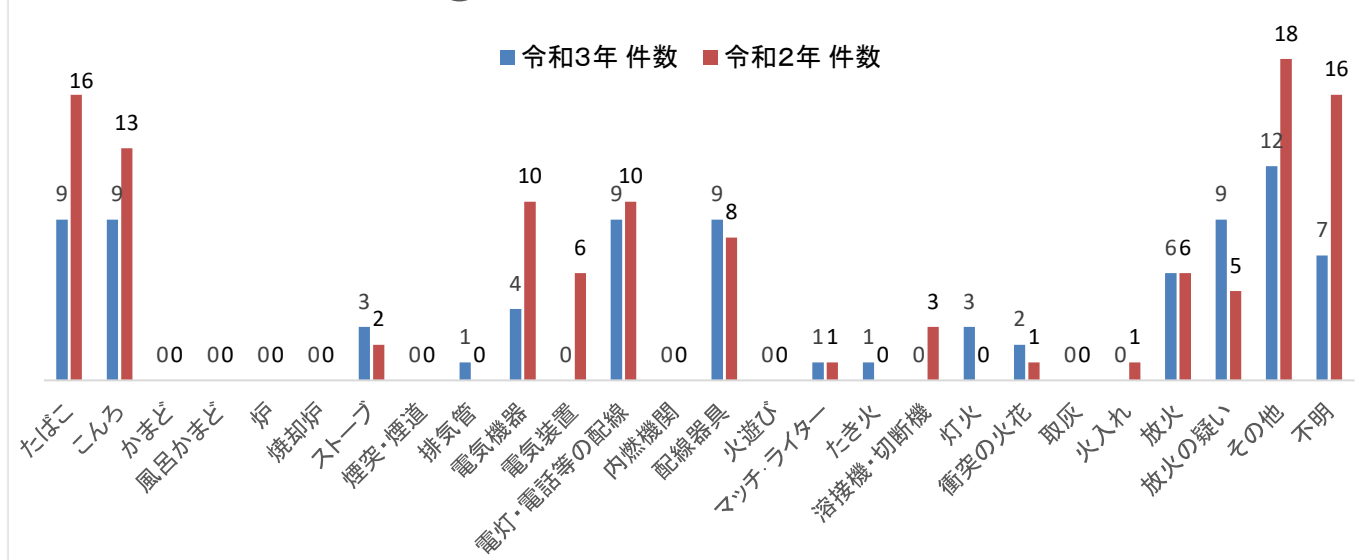
なお、「たばこ」による火災9件のうち、9件全てが不適當なところに捨て置いたことで発生しており、「こんろ」においても使用放置や考え違いにより4件発生したものである。

また、電気に起因した火災は合計で22件発生しており、全体の25.9%を占めている。

(表10)原因別火災件数

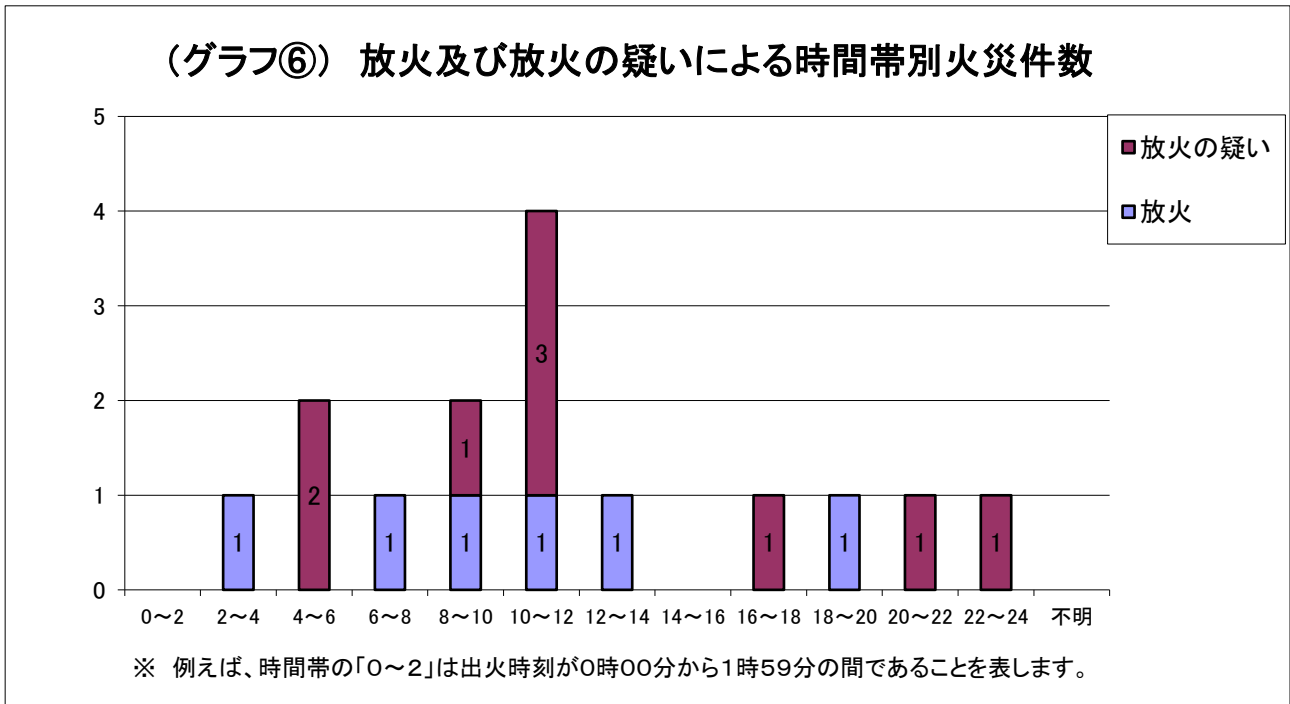
原因	令和3年		令和2年		対前年増減数 A-B	増減率(%) (A-B)/B
	件数 A	割合 (%)	件数 B	割合 (%)		
たばこ	9	10.6	16	13.8	▲7	▲43.8
こんろ	9	10.6	13	11.2	▲4	▲30.8
電灯・電話等の配線	9	10.6	10	8.6	▲1	▲10.0
配線器具	9	10.6	8	6.9	1	12.5
放火の疑い	9	10.6	5	4.3	4	80.0
放火	6	7.0	6	5.2	0	0.0
電気機器	4	4.7	10	8.6	▲6	▲60.0
ストーブ	3	3.5	2	1.7	1	50.0
灯火	3	3.5	0	0.0	3	-
衝突の火花	2	2.4	1	0.9	1	100.0
マッチ・ライター	1	1.2	1	0.9	0	0.0
排気管	1	1.2	0	0.0	1	-
たき火	1	1.2	0	0.0	1	-
その他	12	14.1	18	15.4	▲6	▲33.3
不明	7	8.2	16	13.8	▲9	▲56.3
電気装置	0	0.0	6	5.2	▲6	▲100.0
溶接機・切断機	0	0.0	3	2.6	▲3	▲100.0
火入れ	0	0.0	1	0.9	▲1	▲100.0
合計	85	100.0	116	100.0	▲31	▲26.7

(グラフ⑤)出火原因別火災状況前年比



(2) 「放火」及び「放火の疑い」による火災の状況（グラフ⑥）

「放火」及び「放火の疑い」による火災は合計で15件発生しており、昼間(6時～18時)が9件(60.0%)、夜間(18時～6時)が6件(40.0%)、時間帯不明が0件となっている。
火災が最も多く発生している時間帯は、10時から12時の4件(26.7%)である。



(3) 出火原因「その他」の内訳（表11）

出火原因「その他」は、消防庁への報告要領に基づく出火原因の区分で、どの項目にも分類されないものをいう。

令和3年中の出火原因「その他」にあたる火災は、(表11)のとおりである。

「凹面鏡・凸面鏡」及び「高圧線の接触した木材」によるものが2件ずつ発生している。

ウレタン樹脂の自然発火やダクトホース火災など、発生事例の少なく火災原因が特異なものも散見される。

(表11) 出火原因「その他」の内訳

凸面鏡・凹面鏡	2件
高圧線の接触した木材	2件
液化石油ガスを用いる固定したガス設備	1件
電気恒温器・電気ふ卵器	1件
溶融片	1件
バーナー	1件
白熱灯スタンド	1件
電気乾燥器	1件
その他の自己反応性物質	1件
電気フライヤー	1件

4 建物火災状況

(1) 建物焼損床面積及び損害額の状況(表12・グラフ⑦)

建物火災の建物焼損床面積及び損害額をみると、建物焼損床面積10㎡未満の火災は46件で全体の75.4%を占めている。また、損害額は1件の火災につき1万円未満の火災が23件で全体の37.7%を占めている。

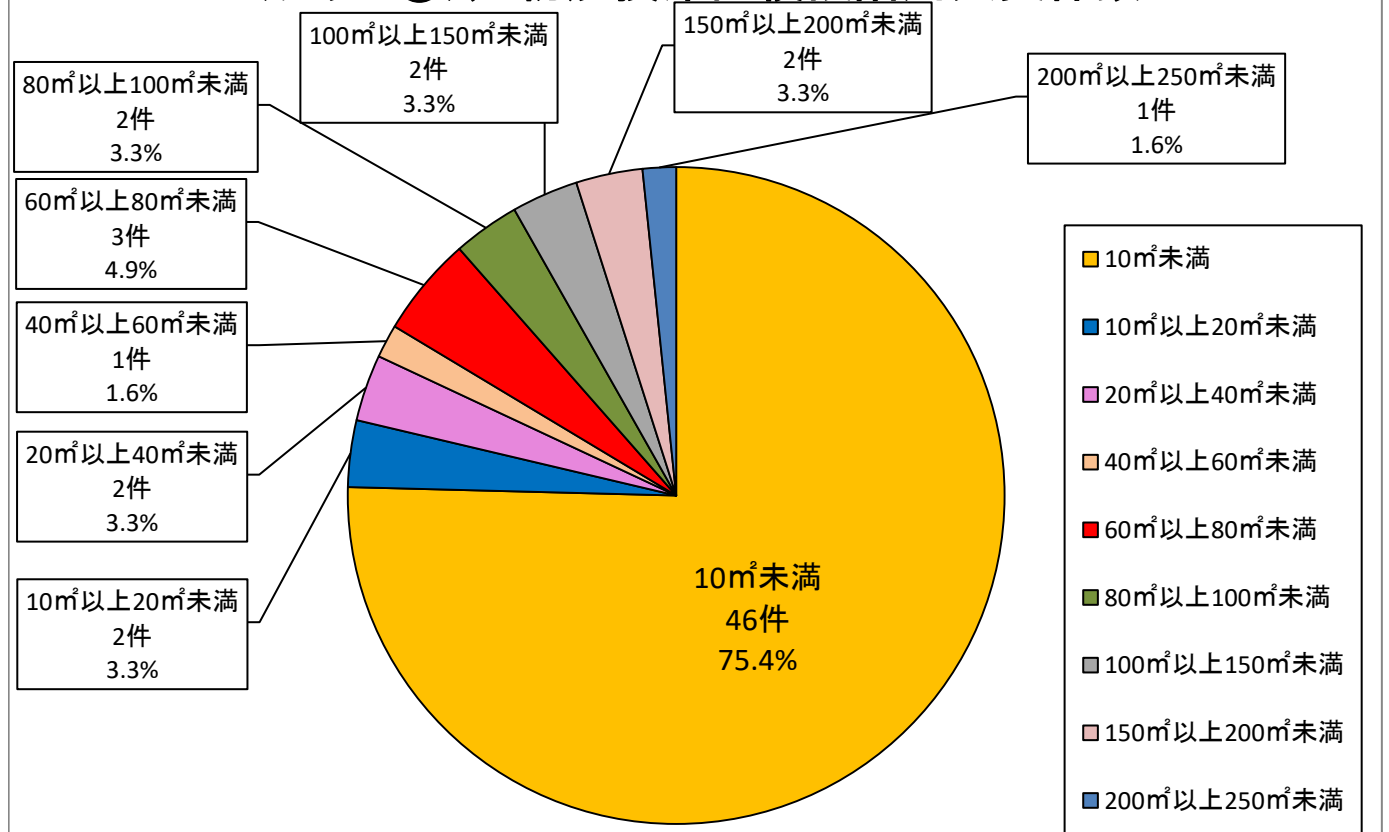
もっとも建物焼損床面積の大きい火災は、約200㎡が焼損しており、木造2階建て共同住宅1棟が全焼し、類焼棟(半焼1、部分焼2)及び車両4台が焼損した火災である。

もっとも損害額の大きい火災は、約2,664万5千円であり、木造2階建て共同住宅1棟が全焼し、類焼棟(半焼1、部分焼2)及び車両4台が焼損した火災である。

(表12) 建物火災の段階別火災件数

区分		火災件数	区分		火災件数
建物焼損床面積			損害額		
10㎡未満		46	1万円未満		23
10㎡以上	20㎡未満	2	1万円以上	5万円未満	12
20㎡以上	40㎡未満	2	5万円以上	10万円未満	1
40㎡以上	60㎡未満	1	10万円以上	50万円未満	9
60㎡以上	80㎡未満	3	50万円以上	100万円未満	2
80㎡以上	100㎡未満	2	100万円以上	300万円未満	5
100㎡以上	150㎡未満	2	300万円以上	500万円未満	2
150㎡以上	200㎡未満	2	500万円以上	1000万円未満	2
200㎡以上	250㎡未満	1	1000万円以上	3000万円未満	5
合計		61	合計		61

(グラフ⑦) 建物焼損床面積段階別火災件数



(2) 建物用途別火災状況 (表13・表14・グラフ⑧)

令和3年中の建物火災61件のうち、44件(72.1%)が住宅火災である。
火災件数が減少したことに伴い建物火災件数も減少しているが、住宅火災の割合は増加している。
また、住宅火災による建物焼損床面積も増加している。

(表13) 建物用途別火災概要

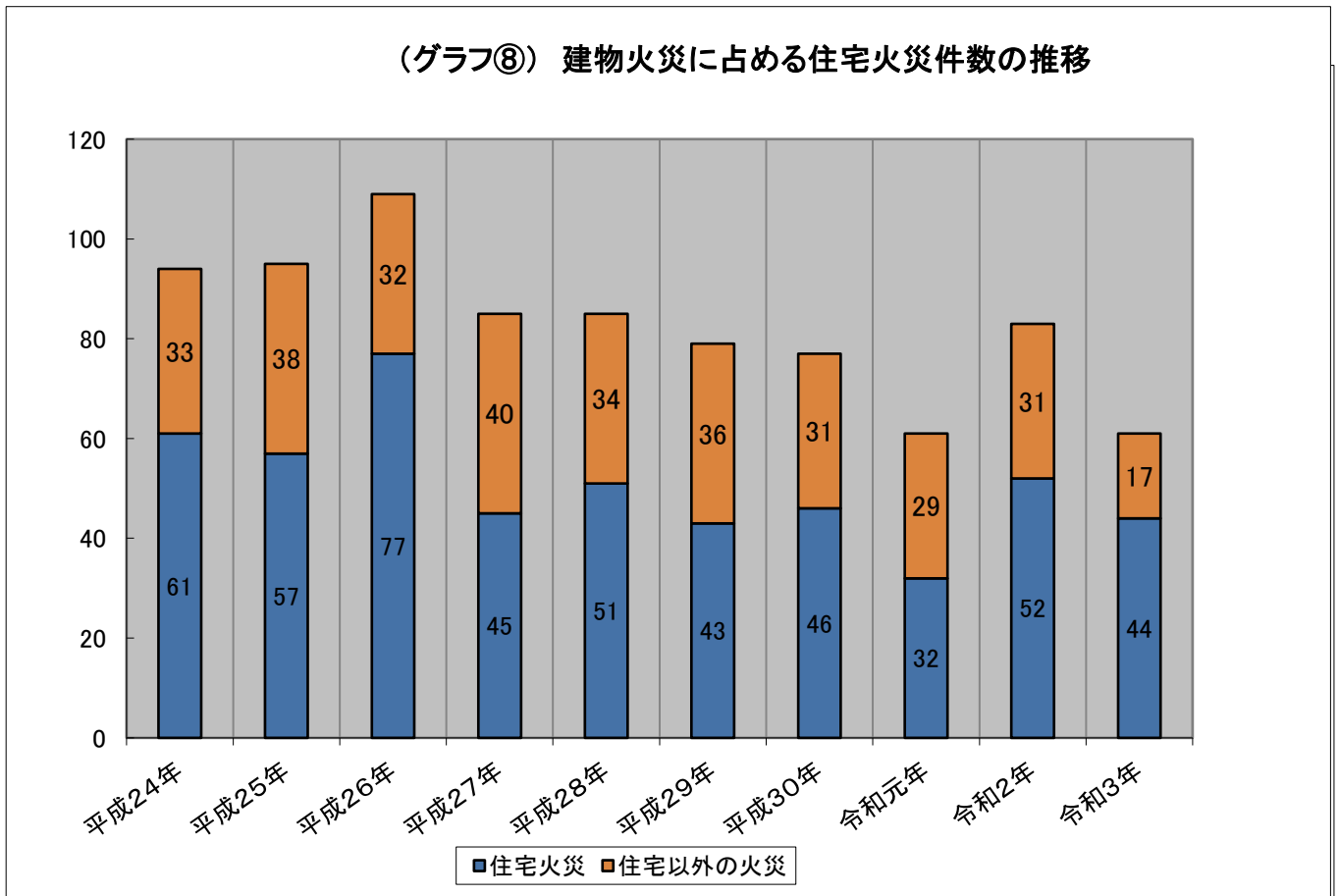
		火災件数			焼損床面積 (㎡)			損害額 (千円)		
		令和3年	令和2年	増減(件)	令和3年	令和2年	増減(㎡)	令和3年	令和2年	増減(千円)
建物火災		61	83	▲22	1,258	6,921	▲5,663	125,189	818,822	▲693,633
専用住宅	一般住宅	21	22	▲1	688	247	441	50,746	62,153	▲11,407
	共同住宅	22	27	▲5	390	388	2	55,381	72,912	▲17,531
併用住宅	店舗	1		1				2		2
	事務所									
	工場・作業所等									
	倉庫									
用途別	劇場・映画館									
	公会堂・集会場									
	キャバレー									
	遊技場									
	性風俗店舗等									
	カラオケボックス等									
	待合・料理店									
	飲食店	1		1						
	物品販売店舗		1	▲1					18	▲18
	旅館・ホテル									
	病院・診療所		2	▲2					1	▲1
	老人福祉施設等	1	1					1		1
	幼稚園・養護学校等									
	小・中・高・大学校	1		1						
	図書館・博物館									
	蒸気浴場等									
	公衆浴場									
	停車場・船舶等発着場	1	2	▲1						
	神社・寺院・教会									
	工場・作業所	1	4	▲3	14	3,508	▲3,494	1,692	638,249	▲636,557
車庫・駐車場										
倉庫	1	3	▲2	115		115	15,931	112	15,819	
事務所等	2	6	▲4	29	148	▲119	932	24,184	▲23,252	
複合用途(特定)	8	9	▲1				348	199	149	
複合用途(非特定)		4	▲4					136	▲136	
その他	1	2	▲1	22	2,630	▲2,608	153	20,858	▲20,705	

※ 住宅火災とは、一般住宅、共同住宅、併用住宅(住宅部分)の火災を示します。

(表14) 建物火災に占める住宅火災件数の推移

	火災 件数	建物火災	住宅火災			住宅火災以外 の建物火災	
			計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
平成 24 年	151	94	61	32	21	8	33
平成 25 年	158	95	57	23	29	5	38
平成 26 年	177	109	77	41	27	9	32
平成 27 年	154	85	45	16	22	7	40
平成 28 年	152	85	51	23	26	2	34
平成 29 年	145	79	43	19	23	1	36
平成 30 年	148	77	46	26	18	2	31
令和 元 年	108	61	32	18	13	1	29
令和 2 年	116	83	52	23	29	0	31
令和 3 年	85	61	44	21	22	1	17

(グラフ⑧) 建物火災に占める住宅火災件数の推移



(3) 放水開始時間別損害状況（表15）

建物火災において、消防隊が放水した件数は19件で、全建物火災の31.1%を占めている。このうち、覚知から放水開始まで10分未満であった火災は3件で、放水件数の15.8%となっている。

なお、放水開始まで10分以上～15分未満が、建物焼損面積及び損害額において最も多くなっており、そのうち延焼した火災件数は5件である。

(表15) 建物火災の放水開始時間別損害概要

覚知から 放水開始まで	区 分	火災件数 (件) A	焼損焼損 床面積 (㎡)	損害額 (千円)	延焼火災 件数(件) B	延焼率 (%) B/A
	5分未満	0	0	0	0	-
	5分以上～10分未満	3	315	42,676	1	33.3
	10分以上～15分未満	11	765	69,163	5	45.5
	15分以上～20分未満	5	147	9,504	2	40.0
	20分以上	0	0	0	0	-
	放水した建物火災	19	1,227	121,343	8	42.1
	全建物火災 (放水しなかった火災を含む)	61	1,258	125,189	8	13.1

(4) 鎮火時間別損害状況（表16）

消防隊が放水した建物火災の鎮火時間別焼損状況をみると、放水開始から鎮火まで60分以上を要した火災は11件(放水した建物火災の57.9%)であり、延焼した火災件数8件の内、7件(87.5%)が含まれている。

また、放水開始から鎮火まで長時間を要した火災としては、最長で4時間20分を要したものがある。

(表16) 建物火災の鎮火時間別損害概要

放水開始 から鎮火まで	区 分	火災件数 (件)	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	延焼火災 件数(件)	延焼率 (%)
	15分未満	4	9	2,732	0	0
	15分以上～30分未満	0	0	0	0	-
	30分以上～45分未満	3	35	2,824	1	33.3
	45分以上～60分未満	1	60	13,640	0	0
	60分以上	11	1,123	102,147	7	63.6
	放水した建物火災	19	1,227	121,343	8	42.1

5 死者・負傷者の状況(表17・表18・グラフ⑨)

火災による死者は、3人で前年と比べ1人増加している。

また、住宅火災での逃げ遅れにより男性2人が死亡しており、逃げ遅れのうち、1人が身体の不自由によるもので、1人は不明である。

火災による負傷者は15人で前年と比べ3人増加しており、年代別としては40代が4人と最も多い。

負傷者の状況は、「避難中」及び「消火中」に受傷したものが共に6人と最も多く(全体の40.0%)、次に「作業中」の2人(全体の13.3%)となっている。

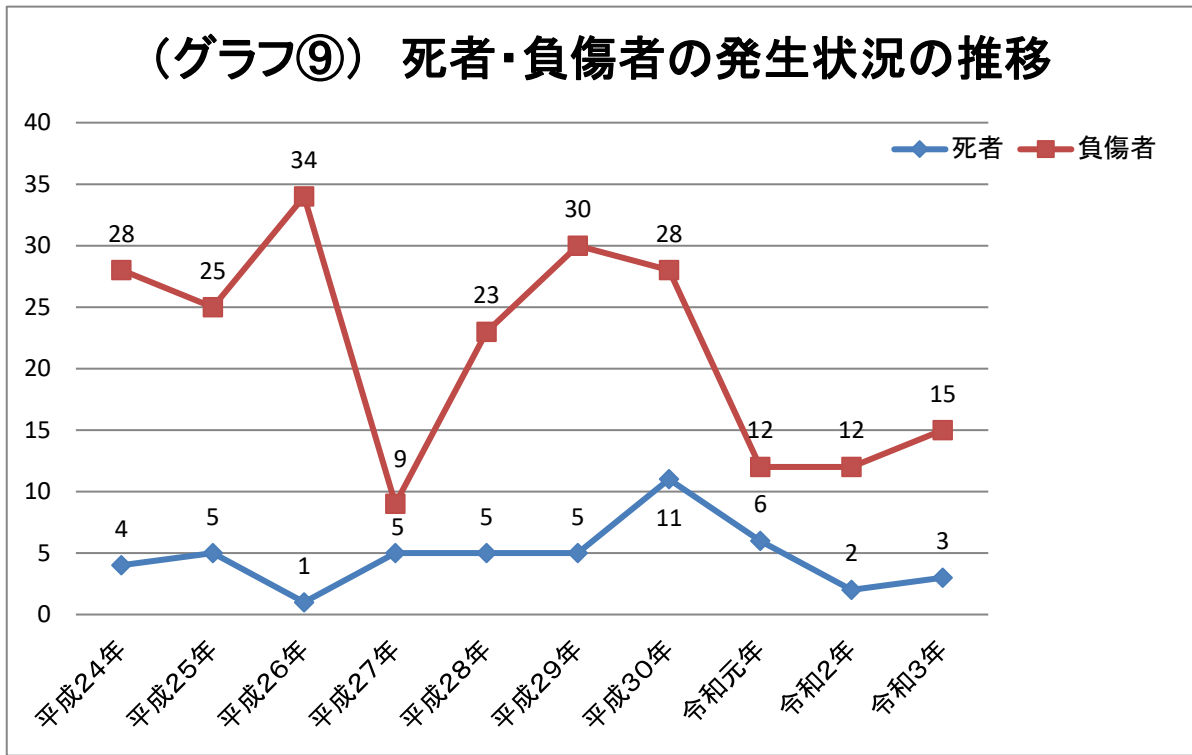
負傷の原因は、「火炎に煽られる」が7人(全体の46.7%)、次いで「煙を吸う」が5人(全体の33.3%)である。

(表17)火災による死者の概要

令和3年〔死者3人男・2人/女・1人〕			令和2年〔死者2人男・2人/女・0人〕		
年齢	性別	死に至った経過	年齢	性別	死に至った経過
65	男	逃げ遅れ	88	男	逃げ遅れ
75	女	放火自殺	73	男	不明
83	男	逃げ遅れ			

(表18)火災による負傷者の概要

令和3年(15人男9人女6人)												
年代別		0~9	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90~	合計
人数		0	1	1	0	4	2	2	1	2	2	15
(前年比)		0	1	1	0	2	1	(-2)	(-3)	1	2	3
男女別	男	0	0	1	0	2	2	1	1	1	1	9
	女	0	1	0	0	2	0	1	0	1	1	6
負傷の状況	避難中	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	6
	消火中	0	0	0	0	2	0	2	0	1	1	6
	就寝中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	作業中	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷の原因	煙を吸う	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	5
	火炎に煽られる	0	0	0	0	3	1	1	1	1	0	7
	放射熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飛び降り	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
負傷程度	重症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	中等症	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	8
	軽症	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	6



6 住宅用防災機器等の設置及び鳴動状況(グラフ⑩・⑪)

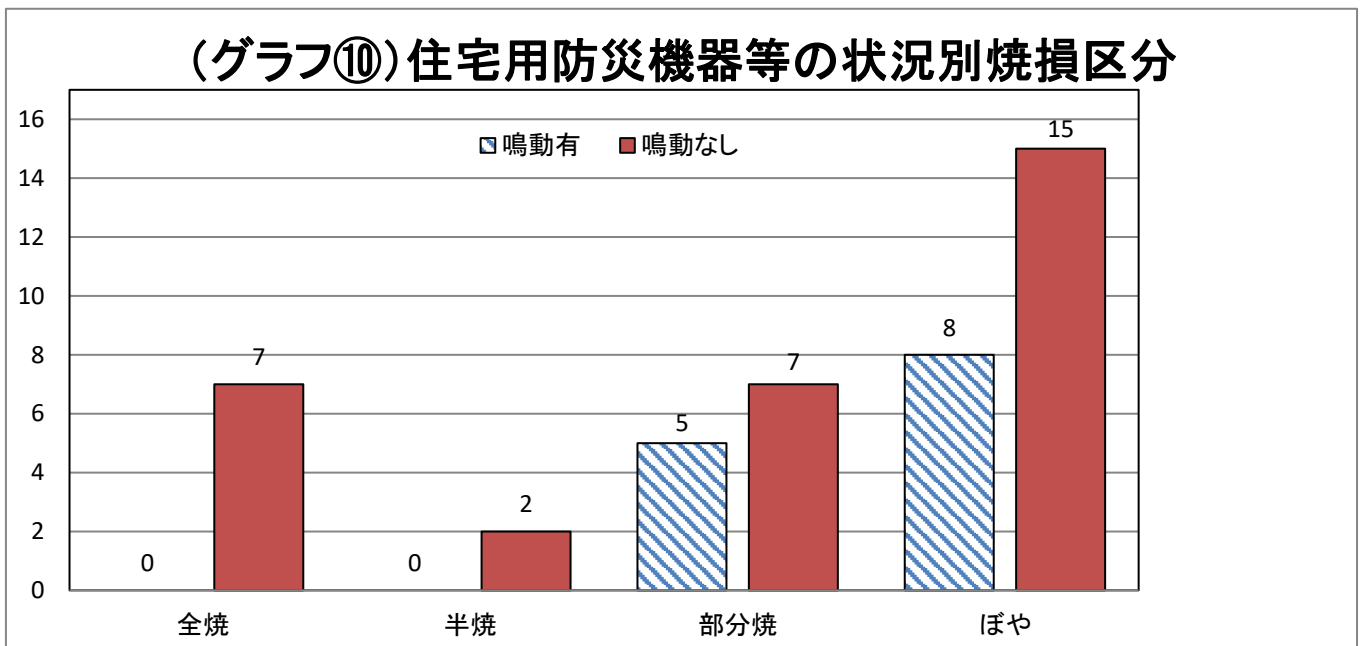
住宅火災44件のうち、住宅用防災機器等が鳴動した火災は13件(住宅用防災警報器6件、自動火災報知設備7件)、鳴動なし・不明等の火災は31件である。

住宅用防災機器等が鳴動した火災の焼損程度を見ると、全焼及び半焼は発生しておらず、部分焼が5件(38.5%)、ぼやが8件(61.5%)となっている。

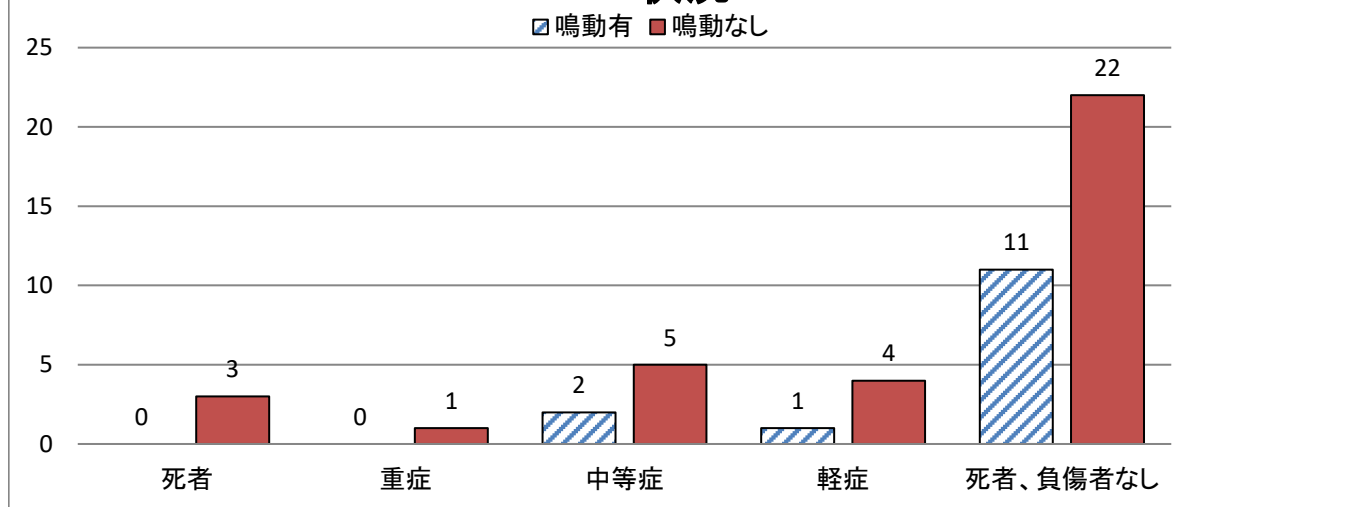
また、住宅火災における死傷者は、死者3人、負傷者13人が発生しており、住宅用防災機器等が鳴動した火災では死者が発生しておらず、負傷者13人のうち鳴動有が3人(23.1%)であり、鳴動なしが10人(76.9%)である。

以上のことから、鳴動有では全焼及び半焼は発生しておらず、鳴動に気づいたことにより早期に対応ができ、部分焼及びぼやの割合が高くなったことが考えられる。

また、死者・負傷者にあっては、鳴動有では死者及び重症者が発生していないことから、住宅用防災機器等の設置が焼損程度及び人的被害の軽減に貢献していると言える。



(グラフ⑪)住宅用防災機器等の状況別死傷者発生状況



7 管轄別火災発生状況(表19・グラフ⑫・⑬)

火災発生件数を消防署の管轄別にみると、中央署管轄が最も多く発生しており、建物火災についても中央署管轄が最多となっている。過去10年間についてみると、中央署管轄は38件(前年比-15件)と過去10年間で最も低い件数となっている。

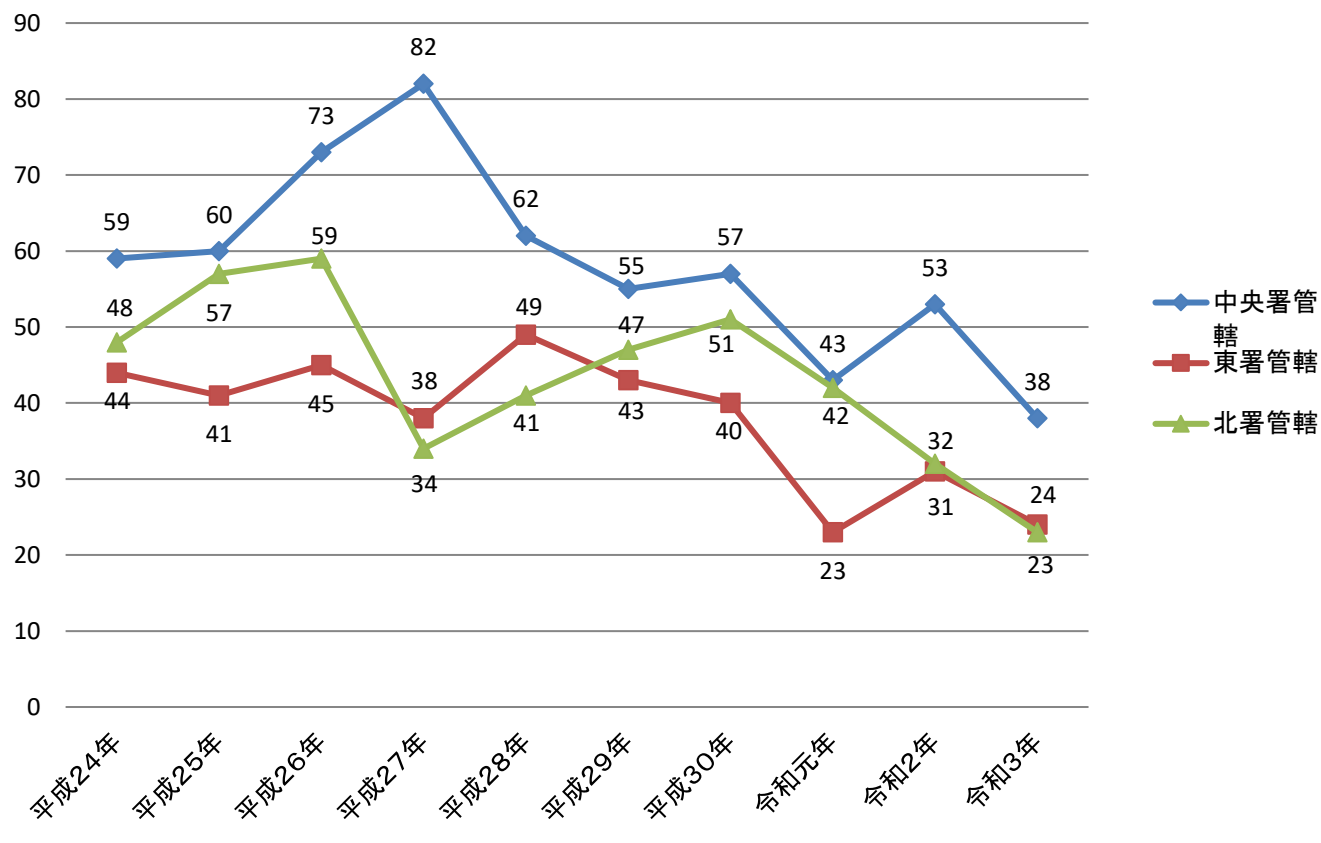
東署管轄は、24件(前年比-7件)と過去10年間で最も低い件数であり、平成30年から減少傾向にある。

北署管轄にあつては、23件(前年比-9件)で令和元年とともに過去10年間で最も低い件数である。

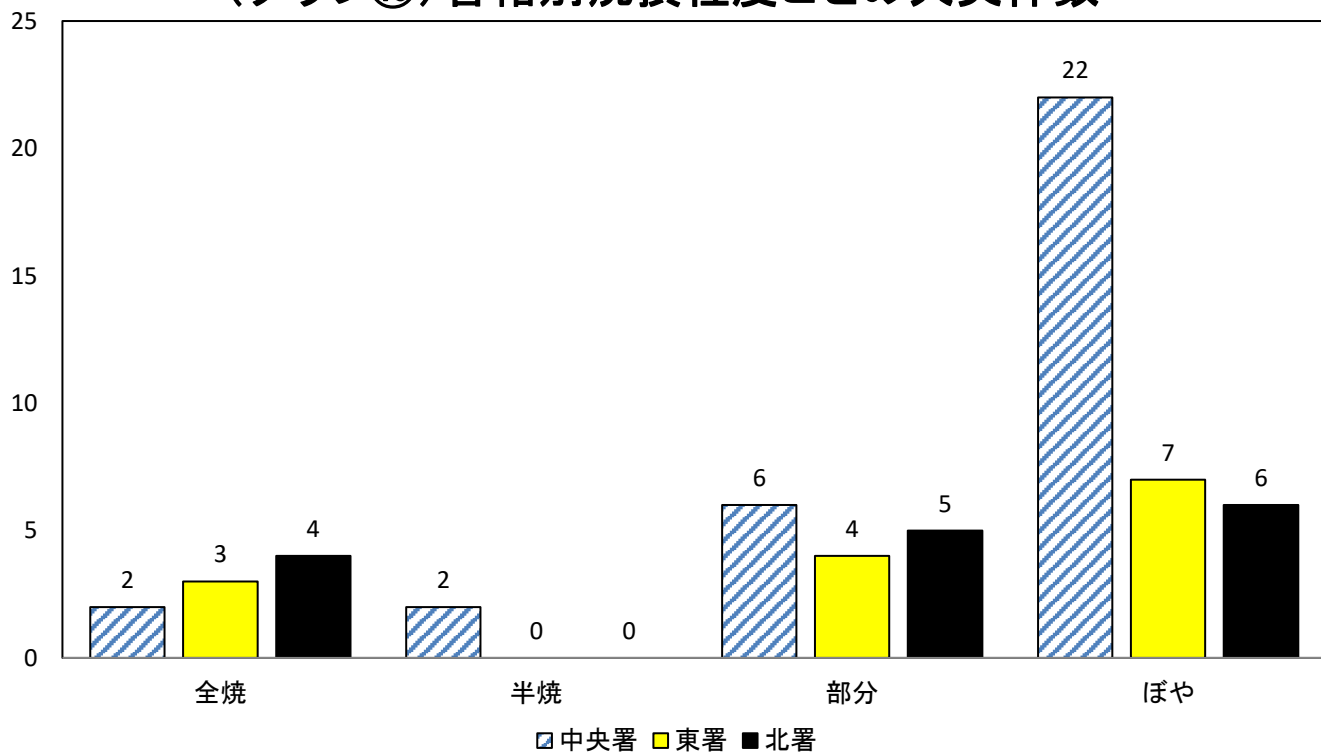
(表19)管轄別火災件数

種別 管轄	計	建物火災(出火建物)					林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	爆発
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
合計	85	61	9	2	15	35	0	6	0	0	18	0
中央署管轄	38	32	2	2	6	22	0	1	0	0	5	0
東署管轄	24	14	3	0	4	7	0	5	0	0	5	0
北署管轄	23	15	4	0	5	6	0	0	0	0	8	0

(グラフ⑫) 管轄別火災件数の推移



(グラフ⑬) 管轄別焼損程度ごとの火災件数



中央署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	
			火元棟									
			全焼	半焼	部分焼	ぼや						
合計		38	32	2	2	6	22		1			5
合東市												
市場		3	3				3					
1丁目												
2丁目												
3丁目		1	1				1					
4丁目		2	2				2					
5丁目												
印内町												
海神		2	2		1	1						
1丁目												
2丁目												
3丁目		1	1			1						
4丁目		1	1		1							
5丁目												
6丁目												
海神町		1	1				1					
2丁目												
3丁目		1	1				1					
海神町西1丁目		1	1				1					
海神町東1丁目												
海神町南1丁目		1										1
葛飾町2丁目												
北本町		1	1				1					
1丁目		1	1				1					
2丁目												
米ヶ崎町												
栄町		1	1			1						
1丁目												
2丁目		1	1			1						
潮見町												
駿河台												
1丁目												
2丁目												
高瀬町												
夏見		2	1			1						1
1丁目		1										1
2丁目												
3丁目		1	1			1						
4丁目												
5丁目												
6丁目												
7丁目												

中央署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
夏見台	見台	1	1			1					
	1丁目	1	1			1					
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
夏見町	2丁目										
西浦	西浦										
	1丁目										
	2丁目										
西船	西船	1	1				1				
	1丁目										
	4丁目	1	1				1				
浜町	浜町	3	3				3				
	1丁目										
	2丁目	3	3				3				
東中山1丁目	東中山1丁目										
	東船橋	5	5			2	3				
	1丁目	2	2			1	1				
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目	2	2				2				
	5丁目	1	1			1					
	6丁目										
日の出	日の出	1	1				1				
	1丁目	1	1				1				
二子町	2丁目										
本郷町	本郷町	1	1				1				
本町	本町	10	7	1			6			3	
	1丁目	3	1				1			2	
	2丁目										
	3丁目	1	1				1				
	4丁目	1	1	1							
	5丁目	1								1	
	6丁目										
7丁目	4	4				4					

中央署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建築物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
湊町											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
南海神											
1丁目											
2丁目											
南本町											
宮本											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
7丁目											
8丁目											
9丁目											
本中山	2	1	1				1				
1丁目											
2丁目											
3丁目	1	1	1								
4丁目											
5丁目	1						1				
6丁目											
7丁目											
山手											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
山野町	1	1		1							
若松	1	1									
1丁目	1	1									
2丁目											
3丁目											

東署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建築物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	
			火元棟									
			全焼	半焼	部分焼	ぼや						
合計		24	14	3		4	7		5			5
古和釜町		1	1				1					
芝山		4	3	1			2		1			
芝山 1丁目		1							1			
芝山 2丁目		1	1	1								
芝山 3丁目		2	2				2					
芝山 4丁目												
芝山 5丁目												
芝山 6丁目												
芝山 7丁目												
高根台		1							1			
高根台 1丁目												
高根台 2丁目												
高根台 3丁目												
高根台 4丁目												
高根台 5丁目												
高根台 6丁目		1							1			
高根台 7丁目												
滝台		1	1			1						
滝台 1丁目		1	1			1						
滝台 2丁目												
滝台町												
田喜野井												
田喜野井 1丁目												
田喜野井 2丁目												
田喜野井 3丁目												
田喜野井 4丁目												
田喜野井 5丁目												
田喜野井 6丁目												
田喜野井 7丁目												
坪井町												
坪井西												
坪井西 1丁目												
坪井西 2丁目												
坪井東		1	1				1					
坪井東 1丁目												
坪井東 2丁目												
坪井東 3丁目		1	1				1					
坪井東 4丁目												
坪井東 5丁目												
坪井東 6丁目												
中野木												
中野木 1丁目												
中野木 2丁目												

東署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
七 習	林 町	2	1			1		1			
	志 野										
	1 丁目	1						1			
	2 丁目										
	3 丁目										
習	志 野 台	6	2	1		1		1		3	
	1 丁目										
	2 丁目	2	1			1		1			
	3 丁目	2								2	
	4 丁目										
	5 丁目	1	1	1							
	6 丁目										
	7 丁目	1								1	
西	習 志 野	1	1			1					
	1 丁目										
	2 丁目										
	3 丁目	1	1			1					
二	宮										
	1 丁目										
飯	山 満 町	2	1			1		1			
	1 丁目	1						1			
	2 丁目	1	1			1					
	3 丁目										
前	原 西	3	1					1		2	
	1 丁目										
	2 丁目	1								1	
	3 丁目	1	1					1			
	4 丁目										
	5 丁目										
	6 丁目										
	7 丁目										
前	原 東	1								1	
	1 丁目										
	2 丁目										
	3 丁目										
	4 丁目										
	5 丁目										
6 丁目											

東署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建築物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
松が丘											
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
三山	5丁目										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
9丁目											
薬円台		2	2	1		1					
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1	1			1					
	4丁目										
	5丁目	1	1	1							
6丁目											
薬園台町1丁目											

北署管轄町名別火災件数

No.1

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
合計		23	15	4		5	6				8
旭町		1	1				1				
	旭町(住居表示未実施地域)										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目	1	1				1				
	5丁目										
	6丁目										
印内		1	1				1				
	1丁目										
	2丁目	1	1				1				
	3丁目										
大穴北											
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
大穴町											
大穴南		1	1			1					
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1	1			1					
	4丁目										
	5丁目										
大神保町											
金杉		1									1
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1									1
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
	9丁目										
金杉台											
	1丁目										
	2丁目										

北署管轄町名別火災件数

No.2

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
金杉町											
金堀町											
上山町		1	1			1					
1丁目											
2丁目											
3丁目		1	1			1					
行田		1								1	
1丁目		1								1	
2丁目											
3丁目											
行田町											
楠が山町											
車方町											
高野台		1	1	1							
1丁目											
2丁目		1	1	1							
3丁目											
4丁目											
5丁目											
古作											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
古作町											
小野田町											
小室町		1	1							1	
咲が丘		3	2	1		1				1	
1丁目											
2丁目		2	1			1				1	
3丁目											
4丁目		1	1	1							
新高根		1	1							1	
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目		1	1							1	
神保町											
鈴身町		1								1	
高根町		2								2	

北署管轄町名別火災件数

No.3

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
豊富町		2	2	2							
夏見台6丁目		1	1			1					
西船											
2丁目											
3丁目											
6丁目											
7丁目											
東中山2丁目											
藤原		2								2	
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
7丁目		2								2	
8丁目											
二和											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
二和東											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目											
5丁目											
6丁目											
前貝塚町											
馬込町											
馬込西											
1丁目											
2丁目											
3丁目											
丸山		1	1			1					
1丁目											
2丁目											
3丁目											
4丁目		1	1			1					
5丁目											

北署管轄町名別火災件数

No.4

町丁目	種別	計	建物火災				林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災
			火元棟								
			全焼	半焼	部分焼	ぼや					
三	咲										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
	6丁目										
	7丁目										
	8丁目										
	9丁目										
三	咲町										
緑	台	1	1								
	1丁目	1	1								
	2丁目										
南	三咲	1	1			1					
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目	1	1			1					
	4丁目										
み	やぎ台										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
八	木が谷										
	1丁目										
	2丁目										
	3丁目										
	4丁目										
	5丁目										
八	木が谷町										